



キャンプ利用状況 (9月1日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 2,142 名 *8/31 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

9/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
24	52	48	67	50	49	23	22	18	19

・きょうから9月。大型で強い台風12号は、2日夜から3日にかけて四国から近畿に上陸の見通しで、局地的に猛烈な雨が予想されています。この影響で各災害ボラセンでは活動の中止を余儀なくされ、宮古市では3日・4日を、山田町では2日・3日を全面休業、大槌町では写真洗浄作業、同展示会受付が中心となります。

■ おもちゃ花火会大盛況 !! ■

- 8/31 夕方、キャンプでは、宮古地方で松明あかしの日に当たるこの日、宮古市崎山地区の仮設住宅を中心におもちゃ花火会を開催しました。この花火は、かねてより民間企業さん、協力団体さん、かわボラOBさん、市民の方々からいただいてあったものです。さらに、この日はかわボラさんによるポップコーンと綿あめのオプションサービスも行い、子供たちから喜ばれました。花火の収集にご協力いただいた皆さんに心からお礼申し上げます。



崎山仮設住宅でのおもちゃ花火会



キャンプ利用状況 (9月4日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 2,269 名 *9/3 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

9/4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
71	58	30	30	29	22	21	35	33	75

・台風 12 号が日本海を北上し湿った空気が本県にも流れ込んでいることから、雲が広がり、雨の降る所が多くなっています。キャンプでは、悪天候などにより活動ができない場合でも、強い意思をもって訪れるボランティアさんの思いに応えられるような行事等の企画を考えていきます。

■ 札幌大学の皆さん、悪天候の中ようこそ！ ■

- 台風 12 号の影響で、あいにく各地の災害ボラセンが休みの最中に入営した札幌大学一行 27 名は、この日初めて大槌町吉里吉里地区の土砂の除去作業に向かいました。きょうは個人ボランティアさん 10 名を加え、釜石、大船渡、陸前高田方面へ被災状況事前学習に出掛けました。参加されたボランティアさんは、壊滅した街並みを目の当たりにして衝撃を受けたようでした。同大学は、9/2 にキャンプイン、9/7 までの 5 泊 6 日の日程で滞在します。

■ かわボラさんに癒しのミニコンサート ■

- 今日、台風の影響で中止と会所でのミニコンサートの食堂で開催されました。の一人である田澤隆さん学の学生さん 2 名の演奏の結婚、トトロメドレー、など、かわボラさんにとりまして癒しのミニコンサートでした。



なった宮古市の仮設住宅集が、場所を替えてキャンプこの催しは、かわボラさん(弘前市)の企画で、岩手大によるものです。フィガロアンジェラ・アキの「手紙」ってとても癒されるコンサ



キャンプ利用状況 (9月6日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 2,398 名 *9/5 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

9/6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
30	30	29	22	21	35	33	75	65	21

- ・ 7月6日にキャンプが開設して以来、きょうでちょうど2カ月経ちました。全国の多くのボランティアさんにご利用いただき、ありがとうございます。おかげさまで、宿泊利用者さんも約2,400名を数えています。
- ・ キャンプでは日帰りでの利用も含め、被災地のニーズとのマッチング機能に力を入れています。被災地からはまだまだ様々なニーズがあります。ぜひかわいキャンブを活動拠点としてご利用ください。

三陸の復興を願う「ヨミガエル」くんTシャツに!

- 奥州市出身の漫画家/吉田戦車さんが考案し、デザイナーの関根信一さんがデザインしたキャンプのシンボルマーク「ヨミガエル」くんが、鮮やかなイエロー地に、ボラが胸いっぱい描かれています。このSAVE IWATEさん(代表 寺井良災地支援に役立てられます。
- 9/6からキャンプで100着限定、販売しております。キャンプの滞在



このほどTシャツとしてヨミガエルボランティアさんを応援するヨミガエルくんのTシャツは、デザインの提供を仲介し夫さんが製品化したもので、益金は被災地へ寄付させていただきます。各サイズとも1着2,500円で記念にお早めどうぞ!

かわボラさんからの声

- 9/5付けの地元紙の声の欄に、再び茨城県のかわボラYさんの投書が掲載されました。キャンプ滞在中の瓦礫撤去活動を通じて、大槌湾の「蓬莱島(ほうらいじま)」や山田湾に浮かぶ「オランダ島」についての説明を受け、地域のことを学んだと述べております。
- 蓬莱島は、故井上ひさしさん脚本のNHK人形劇「ひょっこりひょうたん島」のモデルとされる小さな無人島。今回の震災により灯台をはじめ、弁天様のお堂や鳥居、島と浜辺を繋ぐ約400mの堤防が流失するなど大きな被害を受けました。生き残ったアカマツ3本が枯れないよう、県内の庭師さんにより手厚い手当を受けています。8/1には町の行政無線による放送も復活。お昼のチャイムにテーマ曲が流れます。

♪ … 苦しいこともあるだろさ/悲しいこともあるだろさ/だけどボクらはくじけない/泣くのはいやだ 笑っちゃおう/進め/ひょっこりひょうたん島 … ♪



震災後の蓬莱島

- なお、「オランダ島」については、レポート第10号をご覧ください。



キャンプ利用状況 (9月9日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 2,495 名 *9/8 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

9/9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
23	21	35	32	75	65	21	37	43	38

- ・まもなく 3.11 の大震災から半年を迎えます。復旧から復興へと、被災地ではその目指すべき方向も変わってきております。沿岸部のボラセンでも、すでに大槌町では 9 月 1 日に「大槌町復興支援ボランティアセンター」へ名称を変え、宮古市では 9 月 13 日に「宮古市生活復興支援センター」と衣替えの予定で、今後取り組もうとする方向を明らかにしております。
- ・沿岸被災地や被災された方々にとって、脆弱な復旧基盤の上に立ちながら復興に向かうことは、大変な困難を伴うものと思われまます。私たちボランティアは、自身のやりがい感や達成感を強く主張するあまり、被災された方々にとって本当に必要な支援を見失うことのないよう気をつけたいものです。

磯鶏地区のサロン活動

- キャンプでは、宮古市の仮設住宅集会所・談話室 2~3 か所のサロン活動に、連日出かけています。前例のないところから始めるには、さまざまな工夫や働きかけが必要です。
- ここ磯鶏地区の集会所では、住民の方々がお仲間を誘い合って、手提げ袋、巾着袋、ブックカバー等の小物作りを行っています。こういう自発的な活動が、住民の方々の仲間づくりや相互の見守り活動に繋がっていきます。



AED 講習会開く

- 「救急の日」のきょう、キャンプにおいて日赤岩手県支部さんのおふたりに講師をお願いし、スタッフを対象に AED の使用に関する救急法講習会を開きました。日赤さんからは、すでにキャンプに AED3 台のご寄贈をいただいているところです。必要なときに迅速かつ適切に救命手当を実施することが不可欠です。スタッフも、新たな気持ちで真剣に取り組みました。





キャンプ利用状況 (9月11日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 2,551 名 *9/10 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

9/11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
37	35	78	68	25	34	48	51	40	45

・季節は、すっかり秋です。宮古ボラセンでは「第 27 回みやこ秋祭り～復興祭～」の船山車の引き手ボランティアを募集しています。キャンプには 9/18(日)20 名の要請があります。地元の方々と一緒に祭りの汗をかいてみませんか。

■ 震災 から 半年 ■

- 3.11 から、きょうで半年経ちました。県内で亡くなられた方は 4,656 名、未だ行方の分からない方は 1,692 名となっています。県内の仮設住宅は 8/11 には 13,984 戸すべてが完成しました。また、県内の公共施設や宿泊施設に設置された避難所は、8/31 山田町の 4 カ所を最後にすべて閉鎖されました。今、被災地の多くの方々は、自分のふるさとで復興に向けて懸命に努力されています。キャンプでは、ボランティアの活動を通して、被災地の方々の心の復興を含め、暮らしの復興のために、できる限りの支援をしたいと考えております。

■ 山田町で ボランティアまつり「ふれあい広場」開く ■

- 9/10 山田町保健センター前駐車場で、盛岡市ボランティア連絡協議会（会長 工藤宏行さん）の主催による 2011 盛岡市ボランティアまつり「ふれあい広場」が開かれました。例年、盛岡市内で開いてお興に向けて元気を届けることをの屋台村」と共同で開催することンティア協議会から 18 団体約パイ、綿あめ・ポップコーン、竹どの子どもランド、日用品などを町の大人の方々や子供たちが訪れ、



リンゴ 400 個を使って焼き上げられた直径 2m の巨大アップルパイ

まつり「ふれあい広場」が開催されましたが、今回被災地の暮らしの復目的に、盛岡市国際交流協会の「世界としたものです。スタッフとしてボラ 90 名が参加。800 人の巨大アップル馬やモグラたたきのゲームコーナーな配布する青空市に、1,000 名近い山田大いに賑わいました。



キャンブ利用状況 (9月13日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 2,626 名 *9/12 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

9/13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
71	59	30	30	51	56	44	50	44	35

・ 広島大学 14 名の皆さんは、宮古市の仮設住宅の集会所・談話室のサロン活動に連日入っていただいております。被災された方々のお住まいに出かけての活動ですので、その内容も工夫が必要です。ボランティアにとっても、キャンブにとってもがんばりどころです。

生活復興支援に向けて ～ 宮古市生活復興支援センター開所 ～

- 9/13 宮古市総合福祉センターで、生活の復興に向けた支援を行う「宮古市生活復興支援センター」の開所式が行われました。

む中、1 日も早く元の生活した方々を支援し、併せて仮でも快適で安心・安全な暮らしていただくための活動に移行する

- 生活支援相談員さん(16 名)の生活支援チーム(28 名)の生活支援チームによる生活応援や地域支援者の方々、関係者と一緒に復興支援活動に取り組むものです。



被災地域の復旧や復興が進められるよう被災された方々の生活が少しづつとれるよう、災害ボランティアを引き継ぎながら、生活を共にする方々と連携、協力してまいります。

名)と地域支援スタッフさんと、引き続き活動を行う M.A.D さん(代表千葉チーム)が、地域住民の方々や関係者の方々など

「ワカモノチカラプロジェクト」キャンブ 2 期生

- 3/13 午後、NPO 法人生涯学習プロジェクトのキャンブ 2 期月中旬には、42 名の若者たちがのサロン活動に参加しました。今に参加します。災害時などに対応できるプロジェクトをキャンブは



サポート兵庫さんの「ワカモノチカラ生 31 名がキャンブに入りました。8 大槌町の菜の花プロジェクトや宮古市回は、山田町と大槌町の瓦礫撤去作業できる若い人材を育成しようとすることを目指します。



キャンプ利用状況 (9月15日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 2,757 名 *9/14 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

9/15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
32	35	59	62	47	52	47	38	24	24

・県内、市内にお住まいの方で、未だボランティアに躊躇している方、泊ることにちょっと不安のある方、休暇を使い果たした方は、ぜひ日帰りや土・日での活動をお勧めします。ただし、まだまだ残暑が続きますので、早起きして無理に活動することは、禁物です。

■ きょうの活動者 100人 ■

- きょう9/15、キャンプから派遣され活動されるボランティアさんは、キャンプ設立以来最高の100名を記録しました。8:00 キャンプ前の広場で開かれる恒例のオリエンテーションは、この日キャンプを後にする卒業生の方々の参加を含め壮観でした。キャンプに宿泊の方が59名、日帰りの方が41名となっています。
- 生涯学習サポート兵庫「ワカモノチカラプロジェクト」31名のみなさんは大槌町の鮭プロジェクト活動（河川敷清掃）に、盛岡市医師会附属盛岡高等看護学院37名のみなさんは日帰り山田町の瓦礫の撤去活動に参加し、ほかのボランティアのみなさんはサロン活動（宮古市仮設住宅）や瓦礫の撤去（山田町）、写真展示会受付（大槌町）などに汗を流しました。



大型バスで出発するワカモノチカラプロジェクトと盛岡高等看護学院のみなさん



8:00 朝のオリエンテーション



キャンプ利用状況 (9月17日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 2,832 名 *9/16 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

9/17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
64	65	49	56	52	42	31	32	27	18

- ・きのうは、県内全体が厳しい残暑に見舞われ、沿岸部では各地で真夏日を記録しました。山田町八幡町地区で瓦礫撤去活動をされたかわボラのみなさん、お疲れさまでした。
- ・今後、秋雨前線が東北地方に停滞し、湿度の高い不順な日が続く見込みです。なお、一層の健康管理が必要です。

■ サロンでマッサージ大好評！ ■

- 9/17、宮古市崎山地区の仮設住宅集会所で開かれたサロン活動に、3 名のかわボラさんが参加しました。また、かわボラさんによるマッサージのオプションサービスも行うなど、住民の方々26 名が訪れ、大好評でした。マッサージの順番を待つ間に、住民の方々とお話合いや交流を持つことができました。
- 最近、マッサージ、整体、手芸、子供のおもちゃづくり、読み聞かせ、楽器・声楽など、被災地の方々への慰労や元気回復ができるような活動を行う資格や特技を持ったボランティアさんが、キャンプの紹介で、仮設住宅のサロン活動を中心に活躍いただいております。

■ 大阪市信金の会長さん激励に訪れる ■

- 9/16 午後、大阪市信用金庫(大阪府)の新堂会長さんが、信金中央金庫(東京都) 営業推進部復興支援対応室の境田審議役さんとともに、盛岡市若園町の当災害ボランティアセンターに復興支援活動の激励に訪れました。9/17 から岩手県営球場を中心に開催される天皇賜杯第66回全日本軟式野球大会に出場のため来盛されたものです。
- 試合後は、チームのメンバーがキャンプの紹介で被災地のボランティア活動に参加するということです。まず、野球での健闘をお祈りします！





キャンプ利用状況 (9月19日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 2,983 名 *9/18 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用予定者数

9/19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
49	48	43	37	31	32	27	21	17	13

- ・今、県内各地は秋まつりの真ただ中で活気を呈しています。お祭りは、そこに住む方々が、地域の伝統行事として、連綿として続けられているものばかりです。華やかな山車や手踊り、笛や太鼓のお囃子、パワフルな掛け声が、参加する人、観る人に元気を与えます。
- ・沿岸被災地では、状況が困難な中であっても、復興の礎にしようとする市民一丸となって取り組んでいます。活動の合間に、その意気にふれることも次の活動に向けた活力になるものと思っています。

■ みやこ秋まつりにかわボラさん参加 ■

- きょう9/18午後6時から、「第27回みやこ秋まつり～復興祭～」に、かわボラさん20名が華やかに装飾された船山車の引き手として参加しました。引き手は、宮古市生活復興支援の参加要請があったものです。心配慮に感謝しつつ、滞在するボランティアです。
- この震災のため、例年より規模が小さいものの市民の方々が詰めかけました。参加を通じて宮古市民の方々の復ができたようです。



船山車を引くかわボラさん

参加し、宮古の街を練り歩きました。センターからボランティアとして参加したのは、実行委員会さんの粋なボランティアさんに呼び掛けていたところ

さくなったものの、沿道にはたくさん。かわボラさんは、お祭りへの興に向けた強い思いを感じることに

■ 宮古でミニコンサート ■

- きょう9/18、宮古市の田老ふれあ設置住宅集会所の2カ所で、岩手大コンサートが開かれました。この企画前市)がプロデュースしたものです。ていたもので、お年寄りや親子が楽しんで。今月24日にも、歌とピアノによる仮設置住宅集会所で開催されます。



い荘(敬老会)と、実田(みた)仮学生6名のメンバーによるミニコは、かわボラさんの田澤隆さん(弘事前にチラシを配ってお知らせししめるコンサートとなりました。「磯鶏サロンコンサート」が磯鶏



キャンプ利用状況 (9月22日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,109 名 *9/21 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	9/22	23	24	25	26	27	28
曜日	木	金	土	日	月	火	水
宿泊者	38	43	39	29	23	19	15
活動者	42	47	55	30	30	22	24

- ・ 宿泊利用者さんが、9/19 にキャンプ開設以来延べ 3,000 人を突破しました。北海道から沖縄まで全国各地からボランティアさんが訪れました。また、海外からも支援に駆けつけていただきました。
- ・ ボランティアさんは、日帰り活動から 2・3 カ月に及ぶ滞在活動まで、それぞれのボランティアスタイルに合った支援活動を行っているところです。

■ 台風 15 号 本州縦断で県内大荒れ ■

- 本州を縦断した台風 15 号は、21 日夜遅くから翌日未明にかけて激しい風雨を伴って県内に最接近し、被害や影響が各地で相次ぎました。大槌町の小槌川沿いの仮設住宅の一部が床上浸水に見舞われ、避難指示が出されました。キャンプでも、シャワー室前のフライテントを撤去するなど、施設の点検を行い来襲に備えました。
- この日、屋外活動はすべて中止となりました。キャンプでは希望者 16 名で沿岸北部の被災地視察学習に出掛けました。大きな瓦礫は片付いているものの、被災地の状況には衝撃を受けたようでした。途中、久慈市では新山根温泉「べっぴんの湯」に浸かり、田老では「たろちゃんテント仮設店舗」に立ち寄って買物をするなど、かわボラさんにとってリフレッシュの日でもありました。
- きょうは、屋外活動も再開し、かわボラさんは山田町の個人宅の泥出し活動に出掛けました。



たろちゃんテント仮設店舗で買物



キャンプ利用状況 (9月25日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,229 名 *9/24 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	9/25	26	27	28	29	30	10/1
曜日	日	月	火	水	木	金	土
宿泊者	31	25	20	17	15	10	8
活動者	35	32	24	26	19	16	11

■ ホットクラブオブ盛岡 キャンプでライブ ■ 盛岡の逸品 *ベアレン生ビール* の無料提供も

- 東北で唯一のマヌーシュ(ジブシー)スイング・ジャズバンドの「ホットクラブオブ盛岡」が、24日夜キャンプを訪れ、かわボラさんに生ライブのプレゼント。このライブは、メンバーの一人の齋藤純さんが副代表を務める SAVE IWATE さんの事業として、ボランティアさんへ感謝の気持ちを表したいとの思いで行われたものです。ホットクラブは、ギター(3)とベース(1)からなるメンバーで、盛岡を拠点に年間30本に及ぶライブ活動を行っています。
- 同夜は、食堂兼ミーティングルームでベアレン醸造所(盛岡市北山)無料提供の地ビール「ベアレン生ビール」を片手に、黒い瞳、マイナーズスイング、ヌアージュ、ラ・ジタンなどの演奏に酔いしれました。また、かわボラHさん(神奈川県)の飛び入り演奏もあって大いに盛り上がりました。
- 橋本地区振興会会長さんほか地元の方々も参加され、かわボラさんと交流。意外と豪勢な手料理に感心しきりの様子でした。



かわいキャンブ紹介映像
(盛岡市制作)



ホットクラブオブ盛岡



かわボラHさん(右端)の飛び入り



ベアレンビールの無料提供

■ 大阪市信金チームさん瓦礫撤去活動に ■

- 22日、岩手県営野球場(盛岡市)で行われた天皇賜杯第66回全日本軟式野球大会の決勝戦で、大阪市信用金庫チームは惜しくも敗れ5年ぶり4回目の優勝は逃しましたが、見事準優勝に輝きました。雨で試合が順延し過密なスケジュールで疲れも癒えぬ中、23日・24日の両日、同チームのメンバー6名は、キャンプのマッチングで山田町と大槌町の瓦礫撤去や泥出しなどを行いました。大会準優勝をお祝い申し上げますとともに、このたびの被災地支援活動に感謝します。

レポートかわいキャン

2011.9.27
第33号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (9月27日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,274 名 *9/26 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	9/27	28	29	30	10/1	2	3
曜日	火	水	木	金	土	日	月
宿泊者	19	17	14	9	11	5	7
活動者	21	25	19	15	13	9	7

・キャンプはすっかり秋模様ですが、きょう宮古市では、最低気温が12°C、最高気温が18°Cと予想され、朝夕には長袖のシャツや上着が欠かせない季節となりました。
・業者さんに、各部屋に置かれているFF式暖房設備の点検をしていただきました。ついこの間までは、暑さ対策に追われましたが、これからは寒さへの対応が必要です。

日本赤十字社さんが広報取材にみえました キャンプの要望に応じていただきました ありがとうございます! * 括弧は台数



地デジ対応テレビ (2)



AED (3)



救急セット (6)



プロジェクター・スクリーン



掃除機 (3)



冷蔵庫 (2)



乾燥機付洗濯機 (2)



収録の様子



コンテナシャワー (5)



フライテント (3)

- きょう 26 日、日本赤十字社さんの取材チーム/藤森浩一さん(総務局総務部管財課管財課管財係長)ほか 5 名の方が、これまで寄贈された生活家電や保健・安全設備、備品の利用状況について広報取材に見えられました。日赤さんには、滞在するかわボラさんの支援のため、キャンプの要望に応じていただきました。
- たまたま食堂に居合わせたかわボラさんが、冷蔵庫から飲食料品をさりげなく取り出す様子が広報 VD に収録されました。

盛岡市災害ボランティアセンター 019-651-1000
盛岡市かわいキャン 0193-76-2005

レポートかわいいキャンプ

2011. 9.28
第34号
盛岡市災害
ボランティアセンター



かわいいキャンプの秋



- かわボラさんが朝のオリエンテーションを終え現地へ出発する頃には、山あいにかかった霧雲も次第に上がり始め、キャンプには清々しい青空が広がってきます。空には、刷毛で刷いたような白い雲が流れます。キャンプが大自然の懷に抱かれているということを実感するときです。
- 広葉樹の山ははまだ青々として、紅葉はまだまだ先です。麓のたんぼの稲刈りは、ようやく始まったばかりです。



かわいいキャンプ



かわいいキャンプから早池峰山方向を望む



キャンプ利用状況 (9月29日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,310 名 *9/28 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	9/29	30	10/1	2	3	4	5
曜日	木	金	土	日	月	火	水
宿泊者	16	12	24	6	8	9	9
活動者	19	18	18	12	8	8	8

・9月24日から当分の間、キャンプでは釜石市ボラセンとの調整を行い、主に唐丹地区の瓦礫撤去等の活動に参加しています。キャンプから現地までは、ボラセンを経て2時間20分程度要します。釜石行の朝のオリエンテーションは、通常より30分早く7時30分に始めています。

■ 思い出の大槌町写真返却展 ■

- 大槌町では、写真返却展が、お盆中の大槌小学校に続き今月30日まで旧パチンコパーラー・ルート45(ローソン大槌バイパス店隣)で開かれています。展示されているものは、震災後に町内で拾得されたアルバム、バラ写真、卒業アルバム、額縁写真、トロフィー、賞状などです。持ち主や写っている方の名前や会社・団体名が分かっているものだけでも約800名分あります。平日にもかかわらず、多くの方々が思い出を探しに会場を訪れています。
- キャンプでは、大槌町ボラセンとのマッチングで7月12日から連日、町総合運動公園内相撲場での写真・アルバムの洗浄作業や返却展の受付に参加してきました。今後、整理作業を経て、10月8日から10月31日まで返却展を再開するとのことです。



大槌町写真返却展会場



■ パラソルサロンに中学生参加 ■

- 27日、岩手県二戸市立浄法寺中学校の生徒さん40名が数カ所に分かれて宮古の仮設住宅集会所・談話室で行われるサロン活動に参加しました。キャンプがかわボラさんを派遣した崎山地区と高浜地区の仮設住宅にも3名の中学生が体育着にカバンを背負ってやってきました。ここ崎山では、集会所近くの外に置かれたパラソル付きのベンチで、住民の方々と和やかにお話しをすることができました。



崎山パラソルサロン